



# どうなんだより

## 令和2年夏号

### (株)HARUファーム (知内町)

～ 地域基幹作物で経営効率化を図る1戸1法人～



### 地域を担う

### 農地所有適格法人の横顔

所在地：知内町  
代表者：城地 基晴  
設立：平成25年12月  
役員数：5名(常雇用2名 パート5名)  
事業内容：施設園芸(にら) 350a  
          水稻 14.5ha

親兄弟での経営、雇用確保、経営状況の見える化などを考慮、仲間と勉強会を重ね、H25年12月に設立した。町内初の施設園芸による法人設立事例であり、稲作と知内町の基幹作物であるにらの生産および販売を牽引している。

### 法人経営のメリット

- (1) 福利厚生の実施により、休日確保や人材確保に効果があった。
- (2) 経営状況や施設・機械への投資相談など家族間でしっかり情報共有できた。

### 法人運営のポイント

家族や従業員が働きやすい環境づくりを心掛けている。

### これから法人化を目指す農業者へ一言

「法人設立の目的は色々あると思いますが、経営目標設定、目標設定のための計画策定、法人設立後の経営状況把握は非常に重要です。税理士は有用な情報を持っているので、上手く相談・活用しながら考えて欲しいです。」

### 道南の農福連携 ～渡島・檜山の事例～

### トピックス

近年、道南では、農業と福祉が連携した取組が増加しています。

JA七飯花卉共選場では、令和2年度に7名の福祉施設利用者を雇用しており、JA新はこだての雇用労働力確保に向けた新たな取り組みとして注目されています(写真1)。

また、JA厚沢部野菜共選場でも、アスパラガスにて福祉施設利用者向けの作業を検討しています(写真2)。

農業法人での雇用も、今金町や八雲町など渡島・檜山の北部地区を中心に取組が進んでいます。

令和2年6月、全(総合)振興局農務課内に農福連携の窓口が設置されましたので、是非、ご活用ください。



写真1 JA七飯花卉共選場



写真2 JA厚沢部野菜共選場

集落営農や農業生産法人に関するお問い合わせは、最寄りのJAまたは普及センターまで。

編集事務局(檜山農業改良普及センター)

電話番号 0139-53-6141